

委員会視察記録

委員会名	文化観光委員会	
期 間	令和2年8月5日～6日	
参加者	委員長 河原崎 聖 副委員長 野田 治久 副委員長 伊藤 和子 委 員 相坂 撰治 委 員 市川 秀之 委 員 中谷 多加二 委 員 伴 卓 委 員 中澤 通訓 委 員 牧野 正史	
視察先	1 大井川鐵道株式株式会社（島田市） 2 富士山静岡空港株式会社（牧之原市） 3 一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー（静岡市清水区） 4 一般社団法人美しい伊豆創造センター（伊豆市） 5 願成就院（伊豆の国市） 6 富戸ダイビングサービス（伊東市）	

視察の概要

8月5日（水）

■ 大井川鐵道株式会社

<概要>

大井川鐵道は金谷駅から井川駅まで32駅で営業しており、SLが人気となっているが、コロナ禍により乗客が伸び悩んでいる。また土砂崩れにより家山駅―千頭駅間はバスの代行運転を行っている。



<主な質疑応答>

Q 富士山静岡空港が近くにあると

いうことで、インバウンド客に人気があったと思うが、これからはどんな戦略をとっていくか。

A 海外からの乗客は増加傾向であったが主力というほどではなかった。ただし、今回潮目が変わったと認識しているので、空港等と協力して富士山を含めた国内客の周遊を企画していきたい。

Q トーマスをブランド化する戦略の内容はどうか。

A オリジナル商品の開発などを進めていくが、乗客が減少しているため、今まで通りの収入確保は難しい。

Q 現在の経営状況は。

A コロナウイルスの感染拡大により、積極的に乗客を呼込む状態にはない。トーマス列車の乗車定員も満席の半分以下に抑えており、これまでのような収入は見込めない。

■ 富士山静岡空港株式会社

<概要>

富士山静岡空港は昨年4月に公共施設運営権制度による運営体制に移行し、順調に利用者数を増加させた。しかし、今回のコロナ禍により国際線が全便運休し、国内線も完全には復活していない。



<主な質疑応答>

Q 現在の利用状況はどうか。

A ご存じのとおり国際線が全便運休しており、利用者数は非常に少ない。会社の収益基盤である免税店の営業ができないことも非常に痛手である。

Q 国際線復活に対しての戦略は何か。

A まず、成田、関空など国内の主要空港から国際線が復活すると思われる。続いて地方空港となるが、その中でなるべく優先順位が高くなるように働きかけを行っていききたい。最重点の課題となるのが検疫体制や感染が判明した際の隔離方法となると考えている。これは空港単体での守備範囲を超える部分もあるため、関係機関と連携して対応していききたい。

Q 県に望むことは何か。

A 空港だけではカバーできない感染症対策、国際線復活にかかる国への働きかけ、これまでの浙江省とのつながりを生かした中国側への働きかけ、経営状況等も含めて綿密に協議していききたい。

■ 一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー

<概要>

駿河湾フェリーは昨年6月から静岡市を含む3市3町と県が設立した一般社団法人ふじさん駿河湾フェリーが運航を担っている。昨年度は長雨・台風などの天候不順により69,022千円の赤字となった。



また、今年度はコロナ禍により4月20日から6月30日まで運休した。この運休期間に換気対策のための設備設置や乗客・乗員の安全対策を行った。

7月1日から3日は県民限定の無料キャンペーンを行うとともに、8月30日までは静岡・山梨・長野・新潟県民を対象に料金半額キャンペーンを行っている。その他、静岡・山梨利き酒珍味セットの特別価格での提供、船の甲板をキャンパスに見立てた落書きスペース「駿河湾に浮かぶキャンパス」、東海大学海洋学部の協力による駿河湾深海映像の上映、乗船者限定の御朱印帳発行など様々な企画を通じて利用拡大を図っている。

8月6日(木)

■ 一般社団法人美しい伊豆創造センター

<概要>

美しい伊豆創造センターは「伊豆を一つに」をテーマに世界から賞賛され続ける地域を目指して策定された「伊豆半島グランドデザイン」を推進するために2015年に設立された組織である。伊豆半島の地域活性化のため観光産業の振興に注力し、2018年に観光庁の日本版DMOの認可を受けている。



<主な質疑応答>

Q 今回のコロナ禍への対応状況は。

A 安心・安全な観光地であることを観光客にPRしていくことが重要であると認識している。プロジェクトチームを設けて機動的な対応をとっている。

Q 修学旅行を誘致する動きはあるか。

A 東京など大都市圏への修学旅行が敬遠される動きがあり、伊豆への誘致の可能性は大いにあると考えている。様々な知識を身につけられるジオパークも有効に活用しながら、まずは山梨県に売り込みをかけている。

Q 課題は何か。

A まずはコロナ禍への対応が第一である。また、この組織には13の市町が所属しておりそれぞれの考え方もあるため、方針決定に時間を要する場合がある。

■ 願成就院

<概要>

願成就院は725年に鎌倉幕府の初代執権北条時政が奥州藤原氏の討伐を祈願するために建立されたと伝えられている。寺の創建時から祀られている阿弥陀如来坐像、毘沙門天像、不動明王像と2体の童子像は胎内に納められていた銘札により運慶の作と確認され、この銘札共々国宝に指定されている。



願成就院では今回のコロナウイルス感染拡大により拝観者の減少に見舞われているが、入場時の検温やマスク着用の徹底、密の回避などの対策をとっている。

また、2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は北条時政の息子、北条義時が主人公である。2017年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」放送時には井伊家の地元である浜松市への関心が非常に高まったこともあり、今回の大河ドラマ放送に際して地元の期待は高まっている。

■ 富戸ダイビングサービス

<概要>

いとう漁業協同組合富戸支所は昭和63年からダイビング事業「富戸ダイビングサービス」を開始し、年間約2万人のダイバーを受け入れている。

今回のコロナ禍では一時営業を休止し、潜水時間の短縮、密集を避けるための人数制限、ビニールカーテンの設置、各所の除菌対策などの感染拡大防止対策をとって再開した。また、ダイバー向けの潜水同意書の中にコロナウイルス感染予防のための協力依頼を追加し、それぞれの項目にチェックを行うことにより利用者への注意喚起を行っている。



<主な質疑応答>

Q 利用者の県内外の割合はどうか。

A 90%が首都圏を含めた県外、県内は10%程度である。

Q 集客はどのように行っているか。

A 地元や首都圏のダイビングショップが集客して、現場でのダイバーの管理を富戸ダイビングサービスが行っている。地元のダイビングショップはIターンで移住してきた方が多く、子育て世代の方も数多いため人口減少に歯止めがかかっている。

Q 首都圏からの客を迎えることについて地元の反感は無かったのか。

A 緊急事態宣言の間は営業を控えていた。ここには自家用車かダイビングショップの車で来る方が多く、住宅地とは離れているためそれほど大きな反感はなかったと思うが、中には心配する方の声も少しあったと聞いている。